

アレチウリ撲滅大作戦 Part. 14
詳細のご案内

1. 日時 平成19年7月13日(金) AM8:45~11:00
2. 場所 集合場所:犀川コムラサキの森入口
作業場所:長野市安茂里地籍・犀川河川敷(コムラサキの森内)
(犀川左岸 JR信越線鉄橋下流300m)
3. 服装等 作業服等作業しやすい服装(長袖)、帽子、長靴、ゴム手袋
4. 道具 長柄のカマ

5. 参加要請機関

国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所

長野県 { 河川課、砂防課、都市計画課、環境政策課、水環境課、自然保護
課、生活排水対策課、農地整備課、長野建設事務所 }
長野市 { 危機管理防災室、環境管理課、環境第一課、環境第二課、河川
課、公園緑地課、まちづくり推進課、教育委員会文化財課 }

社団法人北陸建設弘済会長野支所

長野県土地改良事業団体連合会長野県地球人会議

6. 問合せ先 特定非営利活動法人 長野県水辺環境保全研究会
〒380-0803 長野市三輪5-41-23
TEL:026-238-6680 FAX:026-238-6686
e-mail: nagano-mizube@etude.ocn.ne.jp

※ お手数ですが、準備の都合上 7月6日(金) までに別紙「アレチウリ撲滅大作戦参加者名簿」にとりまとめのうえ、返送して下さい (Fax・e-mail可)。

アレチウリ撲滅大作戦 Part. 14 水辺の自然生態系を守ろう

- ※ アレチウリ……（北米原産ウリ科の1年生植物。1株で400から500個の種子を生産するなどきわめて繁殖力が強く、春から夏にかけて数十メートルにも生長する）山野に比べて川辺は植生が不安定で、強力な競合相手もなく川の流れが種子を運び、増殖しやすい条件にあり、千曲川・犀川の河川敷をはじめ、その周辺にも大繁殖しています。
- ※ 河川敷のヤナギやハリエンジュ等の樹木やヨシ原、草地を覆いつくし、鳥類や昆虫類の生息場所を奪っています。また、アメリカシロヒトリがアレチウリの葉をたべるので増殖し、このまま放置すると水辺の自然と生態系が壊される恐れがあります。既に河川敷を飛び越え道路の法面や河川から離れた山地にも生育が見受けられます。
- ※ アレチウリを撲滅するためのその生育場所や特性
 - ① 5～6月の小さいうちに抜き取るか刈り取る。ただし、発芽期間が長いため、その後に発芽してくるものもある。
 - ② 生長したものが開花結実する前に刈り払い種子の拡散を防止する。等が考えられますが、いずれも人海戦術により対処するほかによい方法が見受けられません。人海戦術では限界がありますが、放置するわけにはいきません。環境への影響を最大限に配慮しながら科学的手法などによる防除対策を考える必要にせまられています。
- ※ 「コムラサキの森」に生息するコムラサキの特性
犀川の「コムラサキ」は①一定のねぐらを持つ、②年3回羽化するなどといった生態をもつチョウで、その生息地が私たちの身近なところにあります。その場所には散策路も設置されており、鳥や昆虫が楽園を形成している自然観察地となっていますが、ここにもアレチウリが繁茂しており楽園は危機に瀕しています。
- ※ この自然楽園を救うために、平成6年10月に「アレチウリ撲滅大作戦 Part. I」と題し、安茂里地籍においてアレチウリの一斉駆除を実施しました。以後、この作業は毎年実施しており、本年も引き続き「アレチウリ撲滅大作戦 Part. 14」を別紙のとおり実施したいと思います。
アレチウリを撲滅するには広範囲に渡る行政機関、団体等による息の長い取り組みが必要とされますが、長年の長野市安茂里地籍での取り組みがきっかけとなって、その輪が大きく広がることを期待しております。

この趣旨に御賛同いただきまして、取り組みへの多くの方の参加をお願い申し上げます。

発起人：特定非営利活動法人
長野県水辺環境保全研究会

至 松本



至 長野市街

デリシア

犀北団地

JR安茂里駅

薬局

公園

この部分に
車を止めてください

高水敷

JR犀川鉄橋

集合場所
(コムラサキの碑)

グラウンド

畑

作業場所

犀川 →

アレチウリ撲滅大作戦 作業場所